

1-3-21-3 松倉絵馬市の由来

松倉山観音堂の本尊馬頭観世音菩薩は、古来牛馬の守護仏として信仰を集め、毎年8月9・10日の縁日法要には近郷はもとより遠くは高原郷、阿多野郷から、飼育している牛馬を美しく着かざって参詣し、牛馬の安全、さらには五穀豊饒を祈った。しかし参道を牛馬を引いて参詣することは大変困難を伴うので江戸後期、牛馬の代参として、絵馬をたずさえて参詣する人が増え、さらにはそうした人々の要望に応ずるように絵馬市が出来た。

町に住む人達もそれに習って家内安全、商売繁栄の縁起物として求めるようになり、絵馬市は盛んになった。

松倉絵馬には当時の素朴な参詣の牛馬の姿がそのまま写されている。

説明板より